

# ほろにが

平成28年11月16日  
全国卸売酒販組合中央会

## 「自然災害との出会い」

南九州支部長 池田 正三郎

「ほろにが」の紙面をお借りし、熊本県卸売酒販組合理事長の立場で感謝とお礼を申し上げます。

今年4月14日と16日、観測史上初めて同地点で2度の震度7を記録しました「平成28年熊本地震」。百数十名の尊い命を奪い、公共交通機関を始め、建物、設備、商品等に大きな打撃を与え、県民の生活を一変させてしまいました。

私共熊本県卸売酒販組合におきましても約半数の組合員において甚大な被害を受け、未だ復旧の道半ばの状況でございます。そういった中に全国の同業組合員の皆様方を始め各方面より、物心両面におきまして、心温まるご支援を頂いておりますこと、熊本県卸売酒販組合としてまた罹災企業を代表しまして厚くお礼を申し上げます。

中央会におかれましては全国に義援金を募っていただきました。国税当局におかれましては酒税の還付手続きの迅速なご対応及び簡素化。メーカーにおかれましては罹災商品の戻入等、迅速な対応を取って頂きました事、重ねまして厚くお礼申し上げます。

間接的被害におきましては私共熊本のみならず九州一円に多大な影響が出ておりますが余震がおさまり、今後、終息宣言が出されまして本格的に復旧復興に期待を寄せる処でございます。また、2度の地震が2回共深夜であった事、不幸中の幸いでもございましたし、日頃の経済活動を始め、なにげない日常の平凡な暮らしが出来てアルコール飲料も消費され、人々の暮らしの中で愛飲していただけたという事。平凡な日常生活の大切さ、ありがたさ、人々の普通の暮

らしがあつて私共の酒類業界も存続しうる事、自然の中で生かされている人間社会を身をもって体感した2016年でした。

我が国における地震の歴史を調べてみますと、西暦416年から2016年の約1600年の間に震度6以上が約450回。4年に1度は震度6以上の地震が全国のどこかで発生。熊本は明治22年7月28日発生 of 明治熊本地震から130年ぶりでした。マグニチュード8以上の大地震が1600年間で我が国において50回発生。30年に1度は我が国のどこかで大地震が発生しているという歴史と国土の上に私共生活している理由（わけ）です。

地震を始めとする自然災害また様々な有事が発生しますと、私共酒類卸業界、アルコール飲料のみならず経済活動が停止してしまいます。

自然の恵み、平和の大切さ、有難さを改めて乞い願う処でございます。

鴨長明の「方丈記」に1185年7月9日発生 of 文治地震震度7について記載があります。「世の人が前の地震を忘れ、忘れたところにまた地震が起こり大きな被害の繰り返し」予測が出来ないのは千年前も今も変わらず、また、昔も今も自然災害の前では無力、財産も肩書きも一瞬でなくなる「諸行無常」と述べられている。このことは自然災害のみならず、私共企業経営にとっても相通じるのではないのでしょうか！